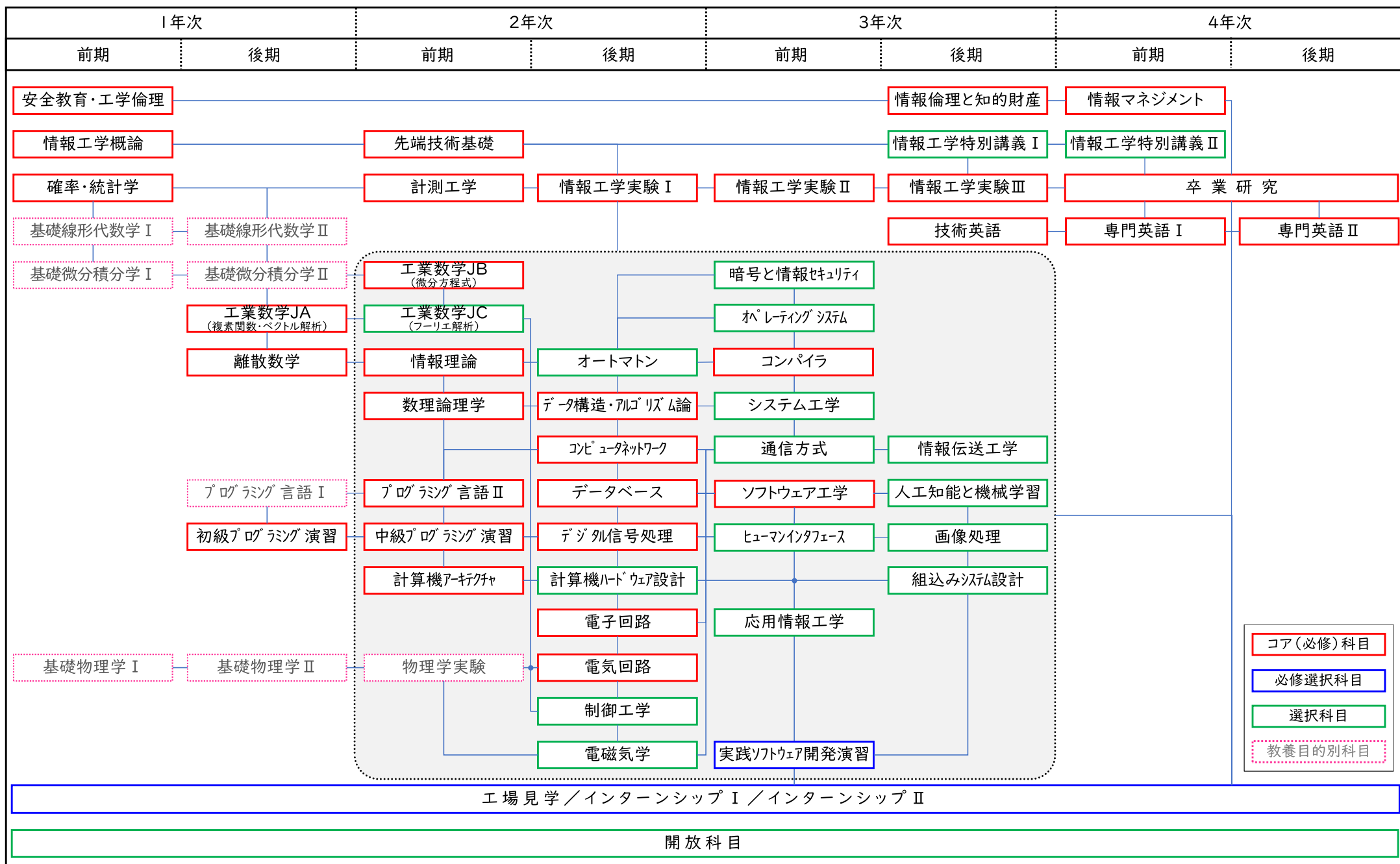


総合工学科 情報工学コース カリキュラムマップ (2025年度以降入学生)

赤字は必修科目，青字は選択必修科目，黒字は選択科目
(括弧付き) は他区分科目，*はコア科目

区分		1 年		2 年		3 年		4 年	
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
共通 教育 科目	大学基礎科目	(データサイエンスⅠ)	(データサイエンスⅡ)*						
	総合工学教育科目 [工学共通・必修/選択]	(基礎線形代数学Ⅰ)* (基礎微積分学Ⅰ)* (基礎物理学Ⅰ)*	(基礎線形代数学Ⅱ)* (基礎微積分学Ⅱ)* (基礎物理学Ⅱ)*	(物理学実験)*					
専門 教 育 科 目		安全教育・工学倫理*		インターシップⅠ		実地研修*(夏季集中)		卒業研究*/長期インターシップ*	
	基幹教育科目* [分野共通:必修]	確率統計学 情報工学概論	離散数学 複素解析 データサイエンス演習	計測とデータ 数理論理学 常微分方程式 フーリエ・ラプラス解析 論理システム設計 情報理論 プログラミング論 プログラミング演習	情報工学実験Ⅰ 計算機アーキテクチャ データ構造・アルゴリズム論	情報倫理と知的財産 情報工学実験Ⅱ	技術英語 情報工学実験Ⅲ	専門英語Ⅰ 応用情報学	専門英語Ⅱ
	基盤教育科目 [分野横断:選択必修]			インターシップⅡ* ・ インターシップⅢ*		特別講義Ⅰ[情報工学] 実践開発演習*(情報工学)(夏季集中)		特別講義Ⅱ[情報工学]	
				電気回路* 電磁気学*	データベース* コンピュータネットワーク* 電子回路* 信号処理* 画像処理*	オートマトン 計算機ハードウェア設計 人工知能と機械学習			
	「分野別・選択必修」	コンピュータサイエンス講座				オペレーティングシステム コンパイラ	暗号と情報セキュリティ 組み込みシステム		
		情報ネットワーク講座				無線情報通信	光情報伝送		
		知能システム講座				IoTシステム	環境センシング		
		人間情報学講座				ヒューマンインタフェース サイバー空間設計	ニューロコンピューティング		

総合工学科情報工学コース カリキュラムマップ (2019～2024年度入学生)



工学部総合工学科情報工学コース

科目区分/領域	到達目標	ディプロマ・ポリシー（DP）との関連						
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
共通基盤	学生は、科学技術の重要な用語や現象について説明することができる。	◎	○	○		○		○
	学生は、科学技術に重要な数学や物理学の基礎知識を説明することができる。	◎	○	○		○		○
	学生は、ヒト社会と自然環境における科学技術の役割を理解することができる。	◎	○	◎		○	○	◎
情報工学の基礎	学生は、情報工学に関する基礎知識を説明することができる。	◎	○	◎	○	○	○	○
	学生は、情報工学における基本技術を用いることができる。	○	◎	◎	◎		○	○
	学生は、情報工学の基礎知識と実社会の技術・製品とを関係づけることができる。	○	◎	◎	◎		○	○
情報工学の応用	学生は、自らが得た知識を課題解決の手段として利用することができる。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
	学生は、新しい概念や技術を創造するための活動に参加することができる。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
	学生は、ヒト社会と自然環境における情報工学の価値を説明することができる。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎

ディプロマ・ポリシー（DP）の説明

DP1：情報工学の基礎知識を身につけ、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を理解し、責任ある技術者として行動できる。

DP2：情報工学に関連する様々な分野に関心をもち、未知分野を理解するために、自主的・継続的に学習できる。

DP3：世界に多様な考え方があることを学び、様々な立場の考えや意見を尊重し、多面的に物事を考えることができる。

DP4：情報工学に関連する課題に対して、与えられた条件や期限を熟慮し、計画的に作業を進め、報告できる。

DP5：専門分野の英語で書かれた文献について理解し、説明できる。また、学習や実験で得た知見を、論理的に記述し、的確に発表し、討議できる。

DP6：自然科学と情報技術に関する十分な知識を修得し、それらの知識を応用できる。

DP7：与えられた問題に対し、修得した知識や技術を利用して、関連情報を収集し、解決手法を提案し、実現できる。